

2021 栄光への軌跡

(^{むらさき}紫 ^{きょう}香 ^ぶ部 ^に日 ^き記)

第 一 部

いずれの御時にか野球部体操部あまたさぶろひたまひけるなかに、
いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけ
り・・・ボート部なりけり。

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。心に映
りゆくよしなし事をそこはかどなく書きつくれば、あやしゅうこそ
ものぐるほしけれ。

目 次

秋季大会(選抜県予選・新人戦)・・・3p

全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会・・・12p

ロングレース・・・19p

11月エルゴ・・・21p

岡山県マシンローイング大会・・・22p

三社参り・初漕ぎ会・卒部会・・・24p

禊・・・29p

卒業式と浜寺遠征・・・30p

コロナで相次いで試合が無くなった2020年百閒川での最後の試合からこの日記は始まる。本来なら国体を最後に3年生が引退し、新しいチームの伴チャリをしながら秋を迎えるのだが、今年はインハイ代替大会を最後とした。チーム横田はどんな一年になるのだろうか？無観客試合のオンパレードになるのか、コロナの収束が見通せないまま新しいチームがスタートした。

秋季大会(選抜県予選・新人戦)

前日の雨で河川敷の雑草は露を含んでいた。無観客試合で河川敷の空き地は駐車できない。それでも上流の公園にでも停めて来たのだろうか、土手の上を保護者がゾロゾロと歩いてくる。関西のトレーナーを着たお父さんが見える。私は線審の担当でスタート地点に居た。線審とはスタート2分前までにボートホルダーに指示を出してバウボールをスタートラインに揃える仕事だ。(どうよ、スルッと理解できますか？ボート用語たくさん覚えられましたか?)そして、フライングもチェックする。8時半、各校からボートホルダーのお手伝いに高校生が集まる。関西はいち早く集合してくれていた。3年生の面々は見知った顔がいたという感じで、名前が分からない。注意事項を伝え二人一組で漁船に乗りステッキボートへと送り込まれて行った。今年はとうとう名前と顔が一致しないまま終わったなあと変な感慨に浸る。そして、審判不足で狩り出され試合の結果も分からないまま進む7レースを見送った。途中で着ていたはずのライフジャケットがボートホルダーから消えているのに気が付いた。前日の雨で濡れていたため座布団になっていた。

そう、土曜日の雨…先生のブログから話を始めよう。

激しく疲れしました。肉体的にも精神的にもかなりのダメージを受けました。朝5時から採点しているからか？午前中の水上作業での疲れなのか？…それもあるかもしれませんが、午後からキョーレツなパンチをもらいました。

今日は、秋季大会(新人戦)前のコース設営と公式練習。いつものとおり私は漁船に乗っての水上作業。冷たい雨の降る中での作業、カッパは着てましたが、全身ずぶ濡れになってしまい往生しました。(一緒に作業船で仕事してくれた森&入澤、ありがとう)この作業、かれこれ20年近くやっています。もし、私が引退したらいったい誰がするのでしょうか？

昼過ぎから参加選手全員を対象とした審判長注意。ここで何人かの部員が居眠り。人が君らのために説明している時に居眠りするなあ！親の躰じゃ！その後、艇のリギング。2年の〇田がデタラメなのです。時間が掛かりすぎです。ていうか知らないのです。もし、これが配艇制度のある中国大会・全国大会だったら、私たちは…即、終了！スタートラインにも立てません。そう、アホは永遠に勝てんということです。もっとボートに興味を持って欲しいです。そこまでで私はかなりの疲れとストレスがたまっていました。

そして、いよいよ公式練習(コース練習)。そこで事件、いや、事故が起こったのです。公式練習、一応のメニューは指定していました。練習の終盤、うちの

ダブルがスタート付近のステッキボートの衝突してしまい、艇を大破させたのです。トップスピードでステッキボートに衝突し、大切なオールを折ってしまうし、レース艇のリガーは完全に折れてしまい、ボディには亀裂と穴が……。ありえません！ あれほど私が水路説明でステッキボートに注意を払うよう促していたのに……。その後、急いで旭川へ代替えオールを取りに行ったり、3年生の協力を得て別の艇をリギングしたりと大変でした。

そういった事でかなりのダメージを受けたのです。疲れMAXです！ 倒れそうでした。もし、今日、3年生が来てくれてなかったら…福田タツキ先生がいなかったら…間違いなくブチ切れていたと思います。まあ、なってしまった事はしょうがありません。今日のチョンボ？は神様のお告げです。「お前ら調子に乗んな！ 謙虚にやらんかい！」と言ってくれたのかもしれない。明日は支えてくれた方々に対して「謙虚に感謝の気持ちをもって」頑張ります。どうか応援よろしくお願いします。

審判長は驚いていました。競漕規則も知らないルールさへ知らない高校生が殆どだと。「真っ直ぐ進まない艇もたくさんいる事を見越して他のレーンの邪魔に成らなければ(衝突の危険や走行妨害など)放っておこう。」との事。良く分かってらっしゃる。また、ユニフォーム統一が厳しく成ったらしい。靴下まで揃ってないといけならしい。そして、一番注意して欲しいのは回送レーンで100m以内にレース中の艇が近づいたら回送中の艇は止まらないといけいないのだが、これはビシビシ取り締まりイエローカードを出すよう言われた。但し、2枚喰らうと失格になるので2枚目は慎重にと言う。ちなみに一発目は関西が喰らってました。悲 無線で知らされたイエローカード……。いきなりかよ……

2 9:12 男1x 決勝	1	吉田 智貴(関西A)	(岡山県)	1	3'44"46
	2	東 真乃介(岡山東)	(岡山県)	5	4'17"15
	3	杉本 悠輔(関西B)	(岡山県)	2	3'55"49
	4	森 大和(関西C)	(岡山県)	4	3'58"44
	5	飯原 佳祐(備前鞆島)	(岡山県)	6	4'24"54
	6	渡邊 圭 (岡山操山)	(岡山県)	3	3'57"12

スタート地点でいきなり大きな声で関西への声援が……。お父さん……。河川敷立ち入り禁止ですよ。大きな声での声援ヤバイですよ。でも気持ちはすんごく分かります。一緒に線審していた吉中君は平成19年度の息子のタメです。ビックリしてる私に

「(笑)ちょっと前まではしてたんでしょ。」

「ちょっと前……。12年前だけどね。」

土手上的の3台の伴チャリ隊はスタートの随分前から待機している。スタートと共に並走していった。

4	3	関西	(岡山県)	1	3' 31" 91
9:36	4	岡山東高	(岡山県)	3	3' 40" 43
男2x	5	備前緑陽	(岡山県)	2	3' 37" 26
決勝					

スタート直後は緑陽が一步リードしていたが・・・。

6	2	関西A	(岡山県)	1	3' 21" 15
10:00	3	備前緑陽	(岡山県)	4	3' 45" 21
男4x+	4	岡山東商業	(岡山県)	2	3' 21" 69
決勝	5	関西B	(岡山県)	3	3' 43" 13
	6	岡山操山	(岡山県)	5	3' 55" 66

綺麗に揃ったスタートでした。レースの展開は掲示板の投稿で知ることになる。

全種目優勝、良かったね

しかし、掲示板や先生のブログみて驚愕したよ。

森川先生のお言葉

クオドルプル・・・、薄氷を踏む思いとはこのことです。 ゴールはどちらが勝ったか分からない差でした。 神様が助けてくれた、保護者の声援が後押ししてくれたと言っても過言ではありません。 公式記録では、ゴールタイムの差は0.3秒ですが、実際は20～30cmの差であったと思われます。

ゴール後、先にガッツポーズをしたのはH高校。 うちの連中は負けたと思い、うなだれていました。 そして、陸に上がって虚ろな目をして私のところにやってきた選手に「おめえら、勝ってよかったのお～～！ 神様が助けてくれたでえ。 神様がもう一回チャンスくれたでえ。」と伝えた瞬間、彼らは地面に伏せるように泣き崩れていました。

しかし、レース内容は今一でした。 スタートから出られて500mで半艇身のビハインド、700でキャンバス差、900で並び、そこからトップボールが一漕ごとに入れ替わる展開でした。 白熱したレースのように思われますが、艇は真っ直ぐ進まない、他艇に出られて背中を見られると魂を抜かれて全く違う漕ぎをしていました。 やってきたことが全然出来なかったのです。 そう、メンタルの弱さが如実に出了レースでした。 あ～～～情けない！《以下省略》

これは2年前のこの大会、2年前の今日のブログです。 同じ事、いや、少し違いますが、似たような事が起きました。 またまた神様に助けてもらいました。 公式記録ではタイム差が0.5秒ですが、私が陸から見る限りたった30～40cmの差で勝ったと思われます。 あともう1ストロークあったら、10mあったら結果はどうなっていたか分かりませ

ん。

レースNo.6、男子舵手付きクォドルプル決勝、10:00発艇。Attention Go! スタートから飛び出て500m付近で1艇身のリード、しかしその後失速し、みるみる差が縮まり、ラストスパートを入れるも全然入らず、ゴールはどっちが勝ったか解らない状態でした。先にガッツポーズをしたのはH高校。うちの選手たちは、負けたと思い虚ろな目をして上陸してきました。艇を下ろしうなだれていると、杉野前主将から勝利を聞かされた瞬間、彼らは地面に伏せて泣き崩れていました。そう、またまた神様に助けてもらったのです。

では、何でこうなったのか？ やはりメンタルの弱さ、そして「チーム力」の低さです。まだまだ仲良しグループ、阿呆な学級会のようなヌルい組織です。実際、学年ミーティングも上部だけの単なる報告会でまともに出来ないのが現状です。「エライのお～！ ダルいのお～！ しんどいのお～！」の傷の舐め合いをしているのです。主将・クルー長・副将も名ばかりで全然機能しません。(ただの便利屋?!) もちろんそれ以外の連中も自分には関係ないといった他力本願なのです。真の協調性とは何か？ とにかく神様がもう一度くれたチャンス、今日の事を必ず教訓として、更なる進化を望んでいます。おめえら、こんなもんじゃねえだろう??

最後に忙しい中、応援に駆けつけてくれた保護者の皆様、関西サポーターの皆様、土手の上からの応援波動、ありがとうございました。おかげで全種目、月末の中国高校選抜大会(10月31日～11月1日 in 島根・さくらおろち湖)に県代表として出場するようになりました。ん・・・この応援波動が関西艇を押ししてくれたのかもしれませんが。

・・・にしても今大会、もの凄く疲れました。昨日のブログのとおり、上級生になってもリギングを知らない者がいたり、艇を大破させたり、オールを折ったり、今日はシングルの沈があったりと大変でした。片付け終了後、私は全選手・監督の前で謝りました。「私が代表者会議で注意喚起をしていたにもかかわらず、うちの部員が大切な国体艇を壊して大変申し訳ありませんでした」

優勝を喜んでいいのか？

微妙な感覚で眉間に皺を寄せてしまった。

なんだか掲示板が騒がしいのでまとめてみよう。

先ずはシングルから

2年の吉田です。自分はシングルスカルで関西Aとして、出場させていただきました。結果は一位で中国大会への切符をもらうことができました。今日の自分があるのは、ずっと忙しい中、毎日厳しい指導をしてくださった福田さんのおかげだと思っているので、感謝の気持ちを忘れず明日からの練習にも、しっかりと食らいついて中国大会で優勝してみせます。先生に、今日君は五流だと言われてしまったので、中国大会までに生き方を変えて先生に一流選手だと認めてもらえるように頑張るので、これからも応援お願いします。

1位になったものの何の進化もないレースでした。 今のままでは勝てません。 9月の特別大会で何を得たのか？
『一流』－『今の自分』＝（ ？ ）を考えてみて下さい。 何が足りないのか？ どうすればよいか？・・・を考えて下さい。 思うだけなら誰でも出来ます。 男なら有言実行です！

厳しいのお

2年の森大和です。自分はシングルスカルで出て吉田、杉本と1.2.3フィニッシュするはずだったんですけど自分が4位と二人に申し訳ないことをしてしまいました。ですがチームとしては全クルー中国大会に行けるので嬉しいですが、今のままじゃ絶対勝てないので、あと残り2週間しかないのですがそこでみんな進化をして選抜のキップ掴めるようやっています。自分は中国大会には出れないのですが自分ができる最善の行動をしていきます！

次は貴方が主役です。 苦しいところから逃げない！ 弱い自分に負けたくない。 苦しみのない人間に勝利はありません？

2年の杉本です。自分はシングルで乗って行きました。自分は練習の時に沈没してしまい、とても焦ってしまいました。それでも挫けては行けないので自分の最高のレースをしようと思い挑みました。結果は2位でした。これでは行けないので次のレースでは1位を獲る練習をして1位を取っていきます。



ダブル

2年の高橋です。自分はダブルスカルに乗らせていただき、結果は優勝で良かったんですけど、目標であった差を付けられず、試合内容的にはあまり良くはなかったですが、このレースで、各クルーに課題が見つかったと思います。だからこそしっかりと明日からの練習で2週間後に迫る中国大会に向け、やっけて行こうと思います！それに、中国大会では、クルーが変わることがあるかもしれません。ここで気を抜かず中国大会でも、市川、高橋ダブルで優勝してきます！

体重UP、エルゴUP、精神力UP、今のままでは勝てません！ ライバルは己の中にいる。

2年の市川です。結果は全種目優勝で本当に良かったです。クオドはどーなんだろうと最初は思っていたんですが、やっぱりクオドはやってくれました！神様がチャンスくれたんだと思います。自分はダブルでレースに出て、絶対最初から出てやると強く思いやると結果は1位で、ゴール出来たものの、2位とは10秒もつけられませんでした。また自分達は前の日に艇の破損がありました。この落とし前は、中国大会でぶっちぎりの優勝をします。中国大会までも全然時間がないので、無駄な時間過ごさないように、日々考えて行動して行きます。



スタートからスピードに乗って行けて良かったんですけど、500m 辺りから段々レーン外に行ってしまう、元々3レーンだった所から0レーンまで曲がってしまった。これは自分たちの身体の細さや、根性が曲がっているからなのでしっかり治して行きます。これが、全国大会だと1つも通用しません。なので、もっと飯から死ぬ気で食って行きます。

3レーンでスタートして0レーンでゴール?! どれだけの距離を漕いだのか? タイムを何秒ロスしたのか? 当然これが普通のレースならば「除外」と判断されても仕方ありません。今回、いろいろとやらかしてくれました。反省して未来を変えて下さい。艇を壊す、オールを折る、まっすぐ進まない、そこから何を学んだのか? 同じ失敗は許されない

クォドルプル

1年生の八重樫弦です。今日の反省では、スタートはいつも以上に良かったんですが、終盤にかけて一気にスピードが落ち最後までスピードを上げ続ける事が出来なかったです。なのでcoxの方からどンドン言ってチームに自信をつけていきます。抱負は中国大会でスピードを上げ続けぶっちぎりの1位を取ります。

2年の坂井です。自分はゴールした時は負けたと思っていました、ゴールした瞬間時間が止まったかのように世界がスローモーションになった感じを今でも鮮明に覚えています。どういう顔で陸に上がればいいのか全然わかりませんでした。ですが陸に上がり艇を置き杉野さんと森川先生に勝ったと知らされた時は足の力が一気に抜け崩れ落ちてしまいました。この時の気持ちは将来忘れることはないと思います。これは神様がくれたチャンスだと思うので、2週間後にある中国大会では、今日みたいなギリギリのレースではなく約束の15秒を達成できるようにします。

レースに出る前クルー全員で笑っていこうと話し合い楽しんでいこうと話合っていました。スタートから出ることができいいスタートをきる事が出来たのですが、650メートル地点をすぎた頃に相手がスパートをかけてきて、クルー全体で少し焦りがでてしまい、スパートであげることも出来ずそのままゴールをしてしまいました。そのゴールした直後は自分は負けたと思っており世界が止まったかのように遅く感じました。シングルとダブルは頑張って1位をとっていたのに自分たちクォドはここで終わってしまうのか？ととても悔しくて涙が止まりませんでした。森川先生が言っていた負けたら何も残らないという言葉がとても身に染みてわかりました。そして陸に上がり杉野さんと森川先生に勝ったと知らされると足の力が抜けそのまま崩れ落ちてしまいました。その時自分は一生負けたくないと思いました。今日のレースで自分達の甘さというものを思い知らされたのもっと危機感を持ち今まで以上の練習をして、2週間後にある中国大会では約束の15秒を達成し今日の大会より成長したなと思わせれるようにします。明日も関西は1番！

そうそう、負けたら何も残らないのです。 やってきた事が全て無駄になるのです。

勝たないと意味がない！ 勝つから面白くなり次の扉を開きたくなるのです。

1年の石井あつきです。ギリギリではあるもののなんとか中国大会へと駒を進めることができました。自分はクォドのバウに乗らせてもらい、スタートの前には「今までやってきたことを出せば絶対勝てる！」とクルーに自信を持たせようと声をかけて行きました。するとクルーの緊張も少し和らぎ、練習よりも良いスタートをすることができました。しかし0-600は取ったものの前から追い上げくる相手に動揺し、焦ってしまってクルーの統一感というものなくなってしまうました。ここでバウである自分がしっかりと声をかけてなんとももち直せばよかったのですが自分の事で精一杯になってしまいそれができませんでした。ただの飾りになってしまったのです。

中国大会まであと二週間。ポジションが変わったりと色々な変化はあるかもしれませんがどんな時で、自信・冷静・集中。そしてコミュニケーションを忘れず中国大会では堂々と天に向かってガッツポーズができるようにします。

2年の横田です。結果は全種目優勝でした！シングル、ダブルの順番で自分が乗ったクオードは最後でしたが他のみんなと皆さんの熱い応援でなんとか勝つことができました。目標の15秒はできずにヒヤヒヤさせてしまいすみませんでした。ゴール直後は負けたと思い何も考えられなかったんですが上がってから杉野さんと先生から1位や！と聞かされ頭をよぎっていた不安から安心して一気にこみ上げてきました。今回は神様がチャンスをくれたと思っています。でももう次の中国大会まで2週間しかありません。県で一番では満足せず、中国ではぶっちぎり優勝をします！感謝と謙虚の気持ちで次も全種目行きます！

二年の江田です。なんとか全種目関西が1位をとったわけですが、それでも自分たちAクオードは油断を見せてしまいギリギリのレースになってしまいました。そのゴールした時に、負けたと思い心が折れそうになったとき杉野さんと先生にお前らが勝ったよ？と言われた時にはその場で大声で叫びたかったんですが迷惑になるのでやめときました。このまま二週間後には中国大会があるんですが、今のままではダメなので少ない時間の中で無駄な時間を作らないようにしていきます！中国大会では絶対に15秒を出せるようにしていきます。

もっとボートに夢中になってくれ！ もっと考える癖を付けなさい！ テキトーは駄目です。お父さんが言っていたように「今年の一貴はスゲーよ！」になって欲しい。 凄い一貴を待ってます。 いつになったら凄くなるのでしょうか？

((´▽´))ガクガク



土手上から観戦したら面白かったらうなあ～冷や冷やワクワク・ドキドキしたらうなあ。やっぱり審判はつまんねえなあ。ああ、そう言えば審判不足の危機なんですって。各部署に本来なら審判員だけで行うべきなんだけど、大学生やら高校生やらお手伝いを頼まないでレースが出来ない状態なんです。審判参加の返信締め切り前に審判長からメールが来ます。当然出てくれますよねって感じで。私はレースが見たいんだ!!!と言い続けてるんだけど・・・ルールを知りたくて試験を受けたのに・・・審判目線も面白い物が書けるかなと一度参加したらアリジゴクのようにズルズルと・・・。今年は暑い時期に試合が無かったから良い様なものの、この暑さは体力の無い私には耐えられません。春季大会からは土手上に戻

るぞう!!(ホンマかいな?) 審判いなくて試合できないって? わたしや知りません。
センセが卒業するまでは応援日記続けます?

あっ!週末はインカレだ!OBは誰が何に出るのかサッパリ分かんないぞ。
先週の全日本観ましたあ? NTT 東日本のエイト凄かったですねえ





これを勝ち上げれば選抜大会です。3月には天竜と鰻が待っています。優勝カップも返して貰わないといけません。

今回は補漕がいっぱい行ってますね。大会の雰囲気を感じて自分たちが選手としてレースをする時には雰囲気に飲み込まれない様に慣れて下さい。異常なまでの緊張は力を出し切る事が出来ませんからね。

そして、福田君も着いて行ってますね。高校生の時には経験できなかった『庄助』と『ケネデー』を満喫して下さい。このお店は元々、OB保護者が4月にある松江レガッタの前夜祭に使っていました。次第に現役保護者も参加するようになりましたが、今は大橋川でのレガッタが無くなりレース会場のさくらおろち湖は遠いのに宿舎は『寺津屋』に泊まり、先生はこのお店で晩御飯です。



怪しい看板ですが、気の良い
マスターと可愛い猫がいるお店です



シングルスカル 2020/11/1 11:12

- 1 山本敦也(山口農業西市) 5 3' 51" 34
- 2 吉田智貴(関西) 1 3' 33" 02
- 3 西谷光貴(福山誠之館) 3 3' 44" 50
- 4 竹山楓人(鳥取城北) 2 3' 37" 00
- 5 本田恭也(松江北) 4 3' 48" 41



ダブルスカル 2020/11/1 11:36

- 1 周防大島 4 3' 32" 60
- 2 広島工大 5 3' 36" 62
- 3 関西 1 3' 20" 61
- 4 米子工業 3 3' 26" 07
- 5 松江東 2 3' 23" 70

ピストン吉田です。(右) 遅刻王です。

舵手付きクォドルプル 2020/11/1 12:00

- 1 松江東 3 3' 25" 40
- 2 米子東 4 3' 27" 60
- 3 鳥取商業 2 3' 24" 80
- 4 宮島工業 5 3' 30" 42
- 5 関西 1 3' 16" 42



破壊王、高橋(右)と市川



3 種目制覇!

3年連続21回目の優勝です

コメントまとめ 試合前・試合後とおかんと 時々先生

クォドルブル2年の横田です 明日から中国大会に出発します。先日の新人戦ではギリギリの試合をしてしまったんですが今回の自分達は違います！新人戦では15秒でぶっちぎりと言って今のところ口だけになってしまっているのが今度こそは有言実行できるようにします。約束の10秒。漢になります。また優勝トロフィーを3つ持ち帰ります。



3種目優勝でした！約束の10秒とまでは行きませんでした、初の県外試合でも緊張することなくいい雰囲気のままいくことができました。

今回勝てたのは僕たちの力だけではありません。それは我々がGOD森川先生と世界一かつこよくて優しすぎる大師匠たつきさんのおかげです。忙しいなか自分達を指導してくださりありがとうございます。先生は行きも帰りもノンストップで命がけで僕たちを連れてきてくださりたつきさんは食事も取らずに手伝いをしてくださり改めて二人の偉大さがわかりました。次は全国でイチバンを取ります。



全国高校選抜大会の切符を手にする事が出来ました。ひとまずホッと胸を撫でおろしています。母

クォドルブル2年の坂井です。明日から中国大会に向けここ岡山を出発します。自分たちがなぜこの中国大会に出れているのか誰のお陰で出れているのかしっかり考えて前の新人戦のようなハラハラドキドキのレースはしません！！自分たちがこの2週間で何をしてきたのか、どう進化してきたのかをこのレースで、ブッチギリのレースで皆様に披露します！



結果は1位でした。新人戦の時みたいにハラハラドキドキのレースではなくブッチギル事ができました。ですが、約束の10秒には2秒とどかず8秒でした。

前日の配艇の時はコミュニケーションがクルーでとれていなく正直自分はこのままいけばまた新人戦の時のように後半コミュニケーションがとれずギリギリのレースになってしまいうんじゃないかと凄く不安の気持ちでした。ですがミーティングでお互いに話し合いメンタルを整え、その時には自分はこれならいける！とっていました。そして今日、試合前は皆顔が笑っていなく凄くかたい顔になっていました笑ですがスタート直前には皆笑顔で行こう！と言ってみんな笑顔でいきました。そして、結果は1位でした。森川先生から教わったこと、今まででやってきた事をだしたら勝つことが出来ました。森川先生はやっぱりものすごく凄い先生でした！そして福田コーチもものすごく僕達の心をまとめてくれて、時に厳しく時に優しく、とてもカッコイイ先輩でした！

岡山大会の後、神様から頂いたチャンスを生かしたいと、各々が掲げた目標に向かって努力した結果がでましたね。苦しい顔をしながら、必死に練習する姿を見ていたので、どの艇も単独でゴールへ向かって行く姿を見て感動しました。レース後の皆さんの顔は、本当に良い顔をしていて嬉しかったです 母



クオドルプル二年の江田です。明日から中国大会に向けて島根に出発します。新人戦の時にはギリギリの試合になってしまったので今回の中国大会ではぶっちぎりで無く約束の10秒台を出します

シングル・ダブル・クオドの3種目全優勝しました！ただ約束の10秒が達成出来ませんでしたでしたがそれでもぶっちぎりの優勝が出来たのでゴールした時の嬉しさがすごかったです。ですがこれで優勝出来たのは保護者と先生と福田さんのおかげなので、次の選抜に向けて気を緩めずに引き締めていきます！

クオドルプル1年の八重樫です。明日から中国大会に向けて出発して行きます！自分達は神様にチャンスをもらったので明後日の中国大会では約束の10秒をつけれるようにこの2週間でやってきた事を出し切ってぶっちぎりで優勝します！

クルー全員を応援して下さいだったので「優勝」の2文字を勝ち取ることが出来ました！

シングル・ダブル・クオドの3種目全優勝しました！ただ約束の10秒が達成出来ませんでしたでしたがそれでもぶっちぎりの優勝が出来たのでゴールした時の嬉しさがすごかったです。



クオドルプル1年の石井あつきです。明日から中国大会に向けて出発します！自分は漕手の中では唯一の1年生ですがボートに学年は一切関係ないので、「俺がこのふねを1番進めている！」「俺が出さずに誰が出す！？」「俺ならできる！！YES！I CAN！！」という気持ちで思いっきり楽しんでいきます！そして今自分がボートができていて、誰のおかげでできているのか？を常に考え感謝の気持ちを忘れずにやっていきます。

無事に中国大会を終えることができ、2位と約9秒をつけて優勝することができました！

優勝したとわかった時はもうニヤニヤが止まらずすっごく気持ちよかったです！！ずっと「嬉しい嬉しい嬉しい」と連呼してました笑

期待に応えなければいけない…というプレッシャーを跳ね除け、見事に優勝という形で全国への切符を3枚持って帰ってくれました。これはまさに選手みなさんの、今までの絶え間ない努力、忍耐、敢為の精神がなした結果だと思います。母